

令和4年度 矢田西中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
			国語	数学	理科	国語	数学	理科
3 年	学校	33	65	49	48	3.9	10.3	3.9
	大阪市	—	66	50	46	5.5	12.2	4.4
4月19日	全国	—	69.0	51.4	49.3	4.3	10.8	3.4

令和4年度 矢田西中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

＜国語＞ 平均正答率は全国平均を4ポイント、大阪市平均を1ポイント下回る結果となった。学習指導要領の内容の「読むこと」領域において、全国平均・大阪市平均を上回ったが、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「書くこと」のそれぞれの領域において、全国平均を下回る結果となった。「話すこと・聞くこと」については、大阪市平均を上回ったが、全国平均を下回る結果となった。平均無解答率は全国平均より0.4ポイント、大阪市平均より1.6ポイント低く、最後まで問題に取り組んだことがうかがえた。

＜数学＞ 平均正答率は全国平均を2.4ポイント、大阪市平均を1ポイント下回る結果となった。学習指導要領の領域の「図形」「関数」領域ではともに全国平均・大阪市平均を上回ったが、「数と式」「データの活用」ではともに全国平均・大阪市平均を下回る結果となった。平均無解答率は全国平均より0.5ポイント、大阪市平均より1.9ポイント低く、最後まで問題に取り組んだことがうかがえた。

＜理科＞ 平均正答率は全国平均を1.3ポイント下回ったが、大阪市平均を2ポイント上回る結果となった。学習指導要領の「地球」を柱とする領域では全国平均を1.3ポイント、大阪市平均を3.5ポイント上回ったが、「エネルギー」を柱とする領域では全国平均を4.2ポイント、大阪市平均を0.7ポイント下回った。「粒子」を柱とする領域と「生命」を柱とする領域では、ともに全国平均を下回ったが、大阪市平均を上回る結果となった。

＜生徒質問紙＞「勉強は好きですか」の質問で全国平均を国語で17.5ポイント、理科で13ポイント、大阪市平均を国語で19.4ポイント、理科で16.5それぞれ上回り、数学も全国平均・大阪市平均レベルの結果となった。「勉強は大切だと思いますか」の質問では、全国平均を数学で1.7ポイント、理科で5.6ポイント、大阪市平均を3.4ポイント、理科で8.5ポイント上回り、国語も全国平均・大阪市平均レベルの結果となった。

【今後に向けて】

国語・数学では、当該学年において、少人数授業やチームティーチングを展開し、苦手克服と、基礎学力の定着に努めた。また、テスト前に限らず、放課後を利用した補充学習を実施し、きめ細やかな指導を行ってきた。

結果、今回の全国学力・学習状況調査の結果では全国平均にやや届かなかったが、大阪市平均レベルに学力は、向上してきている。

生徒質問紙の回答より、「勉強が好き」「勉強は大切である」と答える生徒の割合が多く学習意欲が高いことは、これまでの指導の成果だといえる。

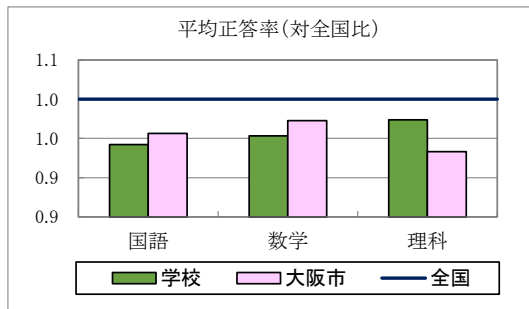
今後も、少人数指導やチームティーチングを国語・数学のすべての授業で実施するとともに、ICTをさらに活用して個別最適な学習指導を行い、将来の夢や目標を持たせ、社会を強く生き抜き未来を切り開くことのできるための、学力の向上に努めたい。

令和4年度 矢田西中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

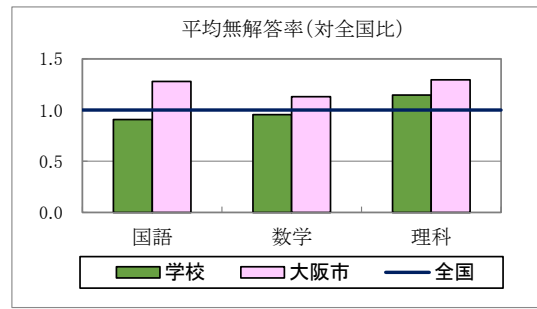
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)		
	国語	数学	理科
学校	65	49	48
大阪市	66	50	46
全国	69.0	51.4	49.3

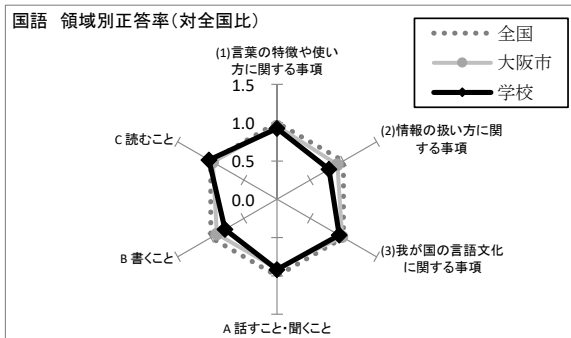
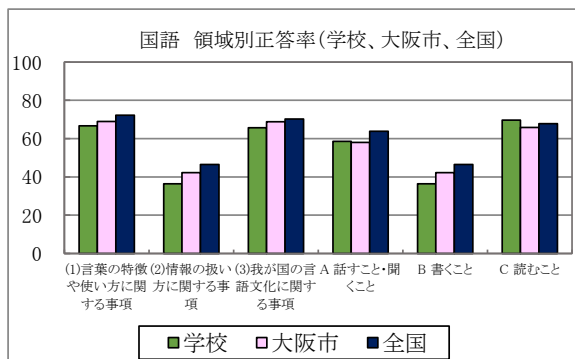


	平均無解答率(%)		
	国語	数学	理科
学校	3.9	10.3	3.9
大阪市	5.5	12.2	4.4
全国	4.3	10.8	3.4



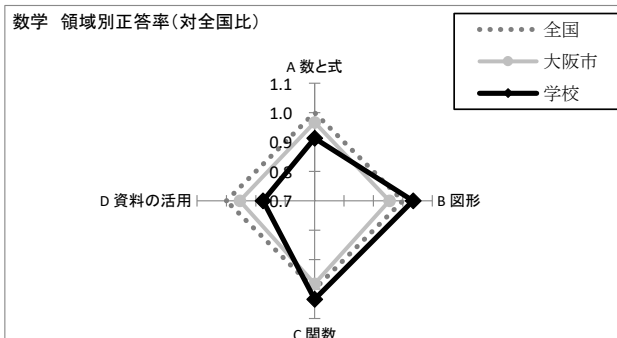
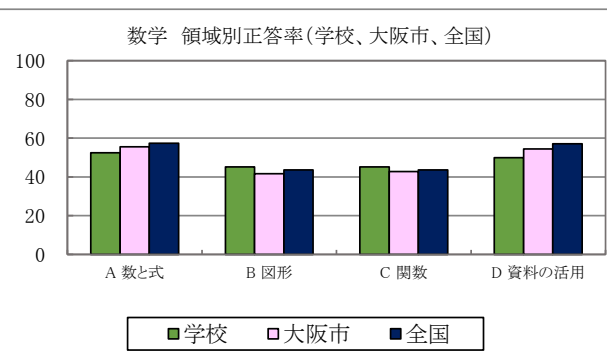
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	6	66.7	69.0	72.2
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	36.4	42.2	46.5
(3)我が国の言語文化 に関する事項	3	65.7	68.8	70.2
A 話すこと・聞くこと	3	58.6	58.0	63.9
B 書くこと	1	36.4	42.2	46.5
C 読むこと	2	69.7	65.8	67.9



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	52.4	55.5	57.4
B 図形	3	45.1	41.6	43.6
C 関数	3	45.1	42.8	43.6
D データの活用	3	50.0	54.5	57.1

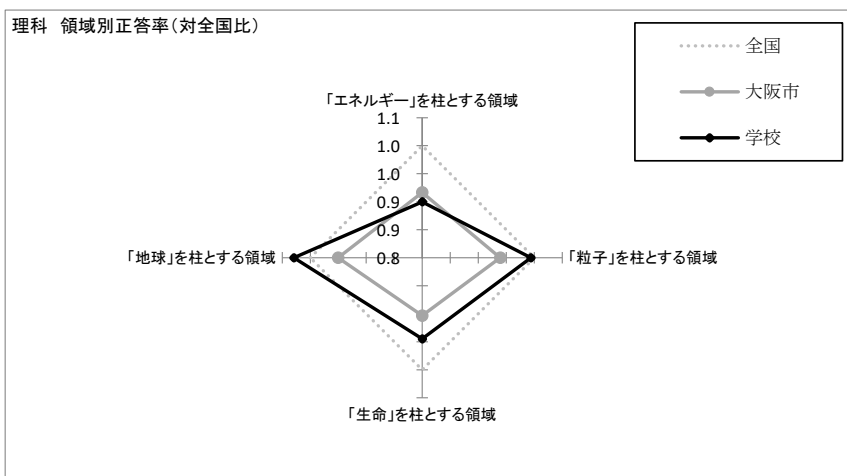
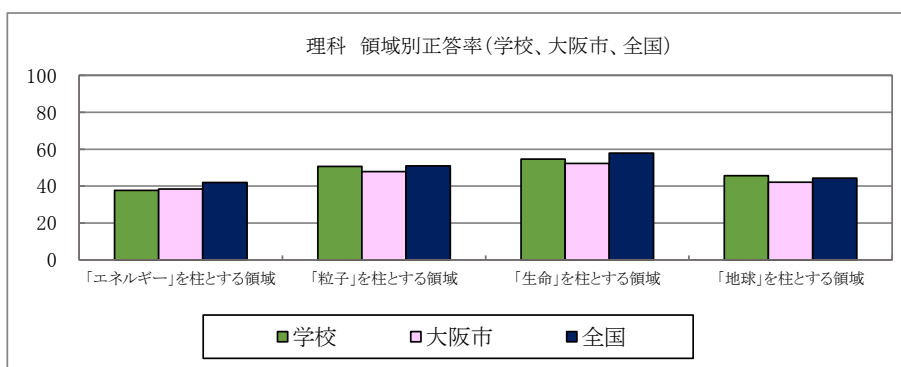


令和4年度 矢田西中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
「エネルギー」を 柱とする領域	6	37.7	38.4	41.9
「粒子」を柱とする 領域	5	50.6	47.8	50.9
「生命」を柱とする 領域	5	54.7	52.3	57.9
「地球」を柱とする 領域	6	45.6	42.1	44.3



令和4年度 矢田西中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

生徒質問紙より

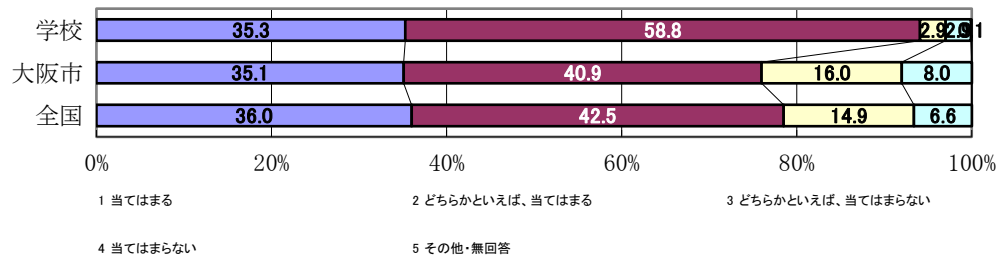
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

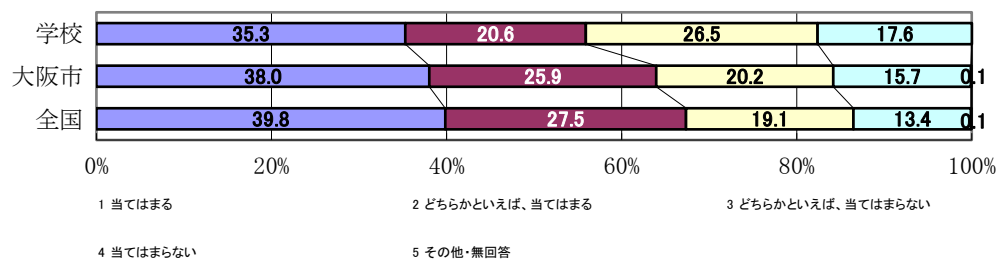
7

自分には、よいところがあると思いますか



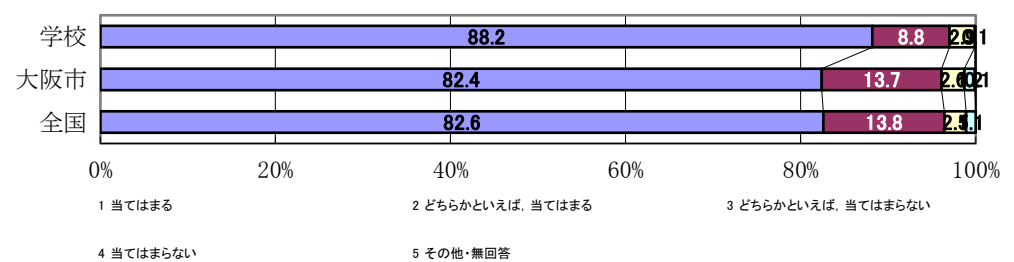
9

将来の夢や目標を持っていますか



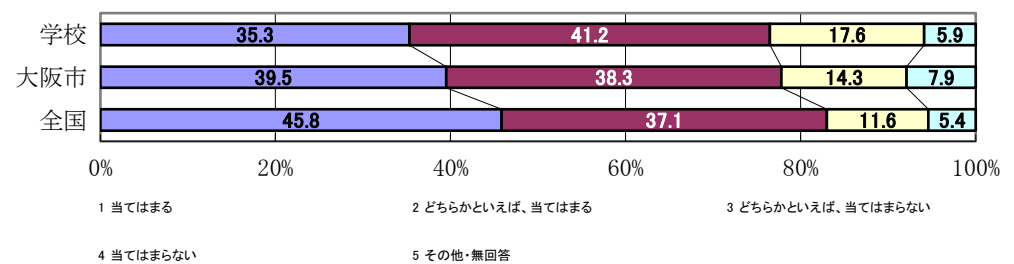
13

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



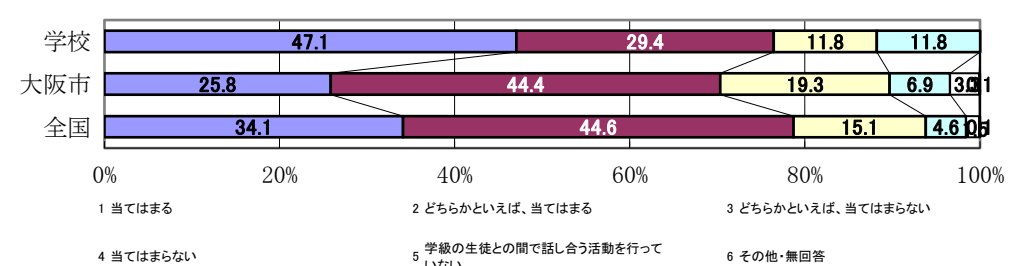
16

学校に行くのは楽しいと思いますか



43

学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



令和4年度 矢田西中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

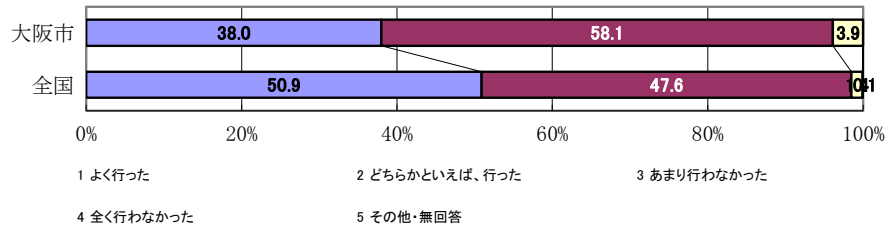
質問番号

質問事項

8

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

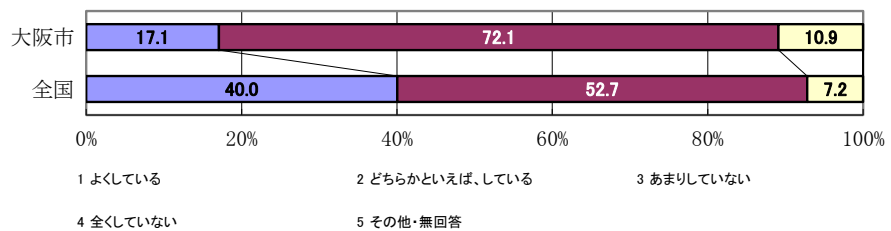
学校 「よく行った」を選択



19

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

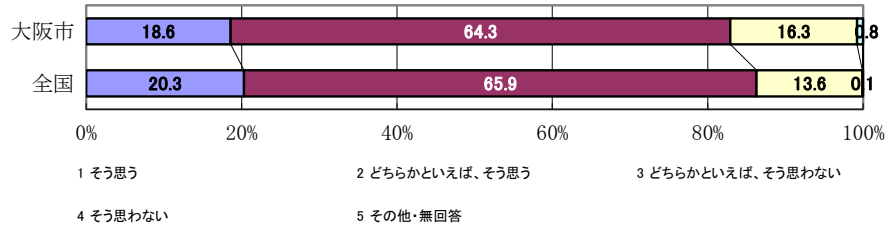
学校 「どちらかといえば、している」を選択



26

調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

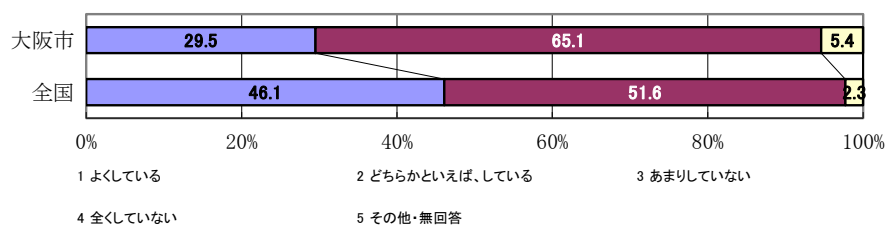
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



36

調査対象学年の生徒に対して、特別の教科 道徳において、生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択



70

調査対象学年の生徒に対して、前年度に、職場体験活動を何日程度行いましたか

学校 「実施しなかった」を選択

